

## 第4回家庭学習頑張り表 保護者振り返りから

主幹 小倉

### 1 成果

- ・低学年の頃からやるべきことは理解し、少しずつやるようになってきた。
- ・やるべきこと（特に宿題）に、まず、取り組めること、決めた場所でできることが素晴らしい。基本的なことだけど、必ずできること、続けられることが立派。
- ・九九も苦手だったところも、すらすらと言えるようになった。
- ・学校から帰宅後のリズム（例 帰宅→おやつ→家庭学習）が習慣化している。
- ・NOメディアにすることで、集中することができた。
- ・テレビは自ら消すようになった。やり始めると集中力はあがり、短時間で終わるようになった。
- ・タイマーを設定し、時間を決めて学習に取り組み始めた。自分で制限時間を設定したことで、集中力が上がり達成感もあるため、よい結果となった。
- ・宿題が終わった後、次に何をしようかなと自ら考える姿が見られた。
- ・自主学習ノートを作り、興味のあることを調べたり、まとめたりする時間を作れた。
- ・わからない問題を一緒に解いて、解決した時は本当におもしろかった。学校で「今、この学習をしているんだな。」と朗らかな気持ちになった。親子で学べるのは、有意義だと思った。

### 2 課題

- ・毎日、宿題チェックをしていなかったのが、家庭学習をしている時間は、一緒に見ていきたい。
- ・読む力をつけるために、少しずつ親子で取り組んでいきます。
- ・時間を決めて、自分で時計を見て、自分から進めていくことが、次の課題です。
- ・親が側について見守っている方が、集中して学習に取り組めると感じた。さらに、親も一緒に学習したり、読書をしたりする姿を見せることが大切だと感じた。

### 3 成果と課題から

- NOメディアで取り組むことで、集中力が上がり、短時間で学習ができるようになった。家庭の学習環境（NOメディア・決まった場所・決まった時間等）を整えることも、家庭学習定着にとって大切。
- 下学年の時から、親と一緒に学習をすることで、習慣化が進んでいる。小さいころに親の手をたくさん入れることで、学年が上がるにつれ習慣化が進み、主体的に学習する姿が出てくる。さらに、週に1回でも、一緒の時間に勉強をする姿を見せることも習慣化、主体的な学びにつながる有効な手立てだと考える。